

令和2年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営 「体育及びスポーツの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供」出来るように各種利用団体と日程調整を行い、格闘技イベント、音楽イベントやファッションショーなど催物の場を提供し、「スポーツとにぎわいの殿堂」を発信する施設として運営を行っています。国家試験や資格試験会場として新規獲得を行った。 文化的イベント（ex.音楽イベント等）として利用する団体の新規獲得予定（2020.10月以降） （評価点：3点）	A	イベント誘致を引続きおこなうなど、利用増に向けた取り組みを実施している。 ＜結果＞各種競技試合だけでなく、文化的イベントとして利用する団体の新規獲得ができた(e.x.音楽イベント等)。 （11月末時点） （評価点：3点）	A	
		②提案した管理運営方針に沿った管理	にぎわいのある催物及びプロ・スポーツ興行などの収益性のある行事を、積極的に誘致しているが、コロナ禍の影響による休館によって大幅に利用者数減となる見込みだが、感染症拡大予防対策を講じて安全・安心な管理運営を行っています。人権研修、個人情報保護研修等の研修を提案どおり実施。（評価点：3点）		個人情報、人権、防災・安全対策等の各種研修を実施し、提案通りに取組んでいる。 ＜取組＞個人情報研修、人権啓発研修等実施。 （評価点：3点）		
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	継続して知的障がい者の雇用を行った。 例年、天神祭りでのボランティア清掃への参加等の社会貢献活動を行なっているが、本年度はコロナ禍により中止。地域清掃ボランティア活動を行った。 C-STEPへはH18年から加入している 支援学校からは1名の雇用を継続している。 大阪府暴力団排除条例等に基づき、利用団体(者)の確認を行っている。コンプライアンスについては社内規則等でも表記しており、法令遵守を徹底している。（評価点：3点）		社会貢献活動、環境問題、法令順守に取り組んでいる。 ＜取組＞・障がい者の清掃員雇用、インターンや職場体験の受入 ・清掃ボランティアの実施 （評価点：3点）		
	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況	平等かつ、公平なサービスを提供するため、関係法令の遵守等グループ全体でコンプライアンスの徹底を行っている。年間の利用日程調整を行い利用団体へ通知し、年間利用計画を策定。また、HP等で施設予約情報や施設空き情報を掲載。直近のスポーツ大会、イベント情報などについてはポスター等を館内に掲示し情報発信を行う等サービスの提供を行っている。（評価点：3点）	A	年間利用計画を策定し、HP等で予約状況を随時発信できている。また、各種イベント情報等の発信にも努めている。 ＜取組＞予約状況や空き状況をHPで公開。イベント情報を館内及びHPにて掲示。 （評価点：3点）	A	
		②高齢者、障がい者等に対する配慮	障がい者団体の減免措置など配慮した体制を実施。ホームヘルパーの有資格者を雇用している。ホームヘルパー、ユニバーサルマナー検定の受講及び資格取得を奨励し、高齢者・ベビーカー利用者・外国人などの利用者へのサービス向上を行っている。（評価点3点）		高齢者・障がい者への配慮が図られている。社内研修等、スタッフの教育にも力を入れている。 ＜取組＞ホームヘルパーの有資格者を雇用。 （評価点：3点）		
	施設の効用を最大限発揮するための方策	(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み	文化イベントやその他利用イベントへの誘致営業活動を積極的に行う。会議室や多目的ホールの利用促進にインターネットサイトの「会議室.COM」の活用を行った。（評価点3点）	B	文化イベントを行う企業や団体に対して、積極的なアプローチを行っている。 （評価点：3点）	A
②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和元年度実績：702,168人 令和2年度目標：830,000人 9月末現在実績：34,291人			Facebookによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。季刊誌4回/年・343団体へ送付、行事予定表発行12回/年 施設入口と管理事務室前にデジタルサイネージを設置し当日の利用予定を掲出するとともにイベント、催し物の情報発信を実施している。（評価点：1点）	季刊誌や館内のデジタルサイネージに加え、Facebook等のSNSを利用し、府民に積極的に情報発信を行っている。 （評価点：2点） ※コロナの影響により指定管理者側の自己評価が低くなっている。			
(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果		①提案のあったサービス向上策の取組み	開館時間の延長や休日開館を実施し、利用者ニーズに柔軟に対応している。 ・令和2年度 休館日開館予定：2日 ・チラシ、HPへのアップ、Facebookによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。 ・個人情報保護及び情報公開研修実施（R2.4）、人権啓発研修（R2.8）等の各種研修を提案どおり実施。（評価点3点）	A	休館日の開館や時間延長など利用者ニーズに即して、柔軟に対応した運営を行っている。 ＜取組＞休館日の開館予定（2回/年） （評価点：3点）	A	
②自主事業の取組み	R2年度は6月より自主事業を再開した。消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの確保など講師と協議し、安心・安全に開催できるように対応しました。（評価点：2点）	R2年度は新型コロナウイルスの影響により6月から自主事業を再開し、感染症対策として、消毒液の設置等、利用者が安心・安全に開催できるよう対応している。（評価点：3点）					
③施設設備、機能の活用	施設設備、機能を十分に活用出来るようサービス向上に努めている。 ・競技場床の維持管理を行うにあたり、木製床管理者の指導の下、自主点検を行っている。 年1回の専門業者による点検を行っている。 ・スポーツ備品の点検を貸出時に随時実施している。 ・館内外巡視点検：事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月1回の目視点検を実施している。（評価点：3点）	施設整備の点検体制を整備している。また、点検箇所によっては、適切な外部指導者の指導の下行っている。設備の事故は発生していない。 （評価点：3点）					

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	設備点検年間予定表を作成し、維持管理を行なっている。 ・合同点検：事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月一回の合同巡視点検（館内外） ・日常点検：設備による、日常点検やライフサイクルコストの低減を図っている。（年間修繕計画等） ・大阪府へ事業報告時に改善提案を行っている。（評価点：3点）	A	設備点検年間計画により実施状況を府へ報告あり。また月一回の合同点検や日常点検など、定期的なメンテナンスができています。また、基本修繕費の計画的な実施状況も報告があり、適正な維持管理に努めている。（評価点：3点）	A
		②施設設備の安全管理	利用者の安全を図るため利用前と利用後には、スポーツ用具等の数量や安全等目視点検を実施している。（評価点：3点）		点検記録簿を作成し、日頃からのチェック体制を整備し、安全管理に向けた意識向上を図っている。（評価点：3点）	
		③緊急時の危機管理体制	危機管理マニュアルを作成し、緊急時にも対応出来るようにしている。又、大阪府警とも連携を図りテロ対策パートナーシップ協議会に参加しテロ対策を推進している。浪速消防署・浪速警察署とも連携を密にとっている。年2回の消防訓練を実施している。（今年度1回目9月にコロナ禍により書面で実施。次回3月実施予定）。（評価点：3点）		危機管理マニュアルが整備されている。管轄の消防・警察と連携することでテロ対策や防災に対する意識を高めている。年2回の消防訓練のほか、大阪880万人防災時にも訓練を実施。（評価点：3点）	
	(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	月間行事予定広告掲載枠 1社契約 デジタルサイネージ、季刊誌についてはコロナ禍により一旦見送りとなり、現在広告募集を行っている。（評価点：1点）	C	広告収入により、収入確保策の取組を行っている。（評価点：2点）	B
		②提案どおり実施されているか。	提案どおり収入確保に取り組んでいるがコロナ禍により見直しが相次いでいる。（評価点：1点）		提案どおり収入確保に取り組んでいるがコロナ禍により見直しが相次いでいる。（評価点：2点） ※コロナの影響により指定管理者側の自己評価が低くなっている。	
	その他管理に際して必要な事項	(7) 府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	・ESSO事業への協力 ・関西エコオフィス宣言に参加（評価点：3点）	A	府や公益事業への協力の取組が図られている。（評価点：3点）
②行政の福祉化の取組み			知的障がい者の雇用（清掃員6名） ・法定雇用率（2019年6月現在） 南海電鉄グループ 2.39% ミズノ 2.45% ミズノスポーツサービス 2.70% ・C-STEP加入済み（H18～）（評価点：3点）	行政の福祉化は提案どおり実施されている。当初提案に基づく雇用人数（6名）を継続的に雇用。（評価点：3点）		
③市民・NPOとの協働の取組み			南海電鉄が推進する文化振興事業「Harmoni a-ハルモニア-南海」のスポーツ振興事業と協働し、沿線中学校で男子バレーボール部を直接指導する「堺ブレイザーズ・コーチングキャンプ by NANKAI」を体育会館にて開催2020.9月実施予定だったが、R2年度はコロナウィルスの影響により予定していたが中止となった。・南海ビルサービスとして、南海電鉄と協働し、南海沿線の中学校3校に堺ブレイザーズの選手を3～4人平日のクラブ活動時間に派遣し、それぞれ5回ずつ指導。例年、地域の祭りへの協力を行っているが、コロナ禍の為に本年度は中止となった。地域町会への協力（評価点：3点）	グループ全体で府民等協働意識、取組がなされている。<取組> 中学校へのスポーツ選手派遣事業（評価点：3点）		
④環境問題への取組み			ESCO事業の推進。 ・環境へ配慮したグリーン電力を使用し、CO2削減に取り組んでいる。 ・親会社が府と「グリーンパートナー協定」を締結し「エコモーションなんかい」と銘打って、グループ企業全体で取組み実施。（評価点：3点）	府のESCO事業を推進。また、電力量の見直しや節電対策にも積極的に取り組んでいる。（評価点：3点）		
I 総括		7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A	

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況	施設利用時は主催者との打ち合わせを綿密に行い満足していただけるよう配慮している。利用中も度々主催者との連携し意思疎通を図り迅速に対応している。HPにはお問い合わせページを作成しているが、2020年9月現在で苦情は0件である。 利用者満足度調査等のアンケートに実施し予定。（2021.2月開始予定）（評価点：3点）	A	利用者満足度調査等のアンケート調査を実施し、利用者のニーズや改善点を把握し、満足度向上に努めている。（評価点：3点）	A
		②調査結果のフィードバック（PDCA）	上記アンケート結果を集計しフィードバックを行い利用者への柔軟な対応につなげている。昨年度の2月に実施したアンケートであったシャワー室の滑り止め対策について滑り止めシールを購入し、滑りやすい場所に貼付けし、事故が起きないように対応した。（評価点：3点）		アンケート結果をもとに、改善等の柔軟な対応が図られている。 <取組> シャワー室のすべり止め対策 （評価点3点）	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 〔指標1〕自主事業参加者数 R1実績：4,540人、上半期実績：2,338人 R2目標：5,000人、上半期実績：881人 〔指標2〕自主事業収入状況 R1実績：9,592,489千円、上半期実績：5,122,297千円 R2目標：11,755千円、上半期実績：1,508千円	ミズノグループと協力し既存の各教室の充実を図った。（各教室の講師と綿密な打合せ等）4月～5月までは休館によるスポーツ教室の休講を行った。6月以降教室を一部再開し、コロナ禍でも安心して利用できるように消毒や受け入れ人数の調整などを行った。7月以降全教室を再開した。（評価点：1点）	B	指定管理者の構成企業と連携し、既存の充実を図っている。また、コロナ禍でも安心して利用できるよう消毒や受け入れ人数の調整を行い、7月以降全教室を再開している。（評価点：3点） ※コロナの影響により指定管理者側の自己評価が低くなっている。	A
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	・個人情報保護マネジメントシステム自覚教育資料を使用し、テスト方式による研修を実施。 ・大版プリンターを利用しB1、B2大のポスターを印刷し自主事業、お知らせ等の告知に活用。 ・危険予知（KY）により、館内外に潜む危険箇所の抽出を行い注意喚起の掲示等を行った。 ・デジタルサイネージの活用により、利用状況の掲示だけでなく、様々な情報を発信している。（評価点：3点）	A	新たなシステム（個人情報マネジメントシステム）や、また既存のツール（デジタルサイネージ）を有効的に活用した取り組みが出来ており、利用者のためになる有益なものになっている。（評価点：3点）	A
II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R2収支計算書（プロポーザル） 収入：376,927千円、見込み：154,255千円 支出：376,927千円、見込み：376,927千円 納付金：14,290千円、見込み：14,290千円 補填額総額：198,153千円	①事業収支及び見込み 《令和2年度：対プロポーザル比》 収入：40.9% 支出：100% 納付金：100% （評価点：4点）	S	コロナ感染拡大防止による休館等の影響もあり収入については提案額を下回る見込みである。コロナ感染防止につとめながら収入確保策に講じてもらいたい。（評価点：3点）	A
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	提案時の職員体制 非常勤社員2名、正社員7名、嘱託社員5名 パート社員7名、臨時職員2名、合計23名 (R2.9月現在) 非常勤社員2名、正社員8名、嘱託社員5名、パート社員9名 合計24名 プロボ提案時に比較して、パート社員、正社員を増員している。（評価点：4点）	S	「管理体制計画書」の職員体制に加え、現場の状況に応じて柔軟に職員を配置することで、安定な管理運営体制をとっている。（評価点：3点）	A
		②管理監督体制・責任体制	・支配人を体育会館に常駐させ、経理部門、事業部門、維持管理部門全体を把握させ各部門の業務の調整を行なっている。 ・毎日1回スタッフミーティングを実施。お客様からの要望、施設の維持、イベント等について、情報の共有を行っている。（評価点：4点）		支配人が常駐したことで、各部門間でも業務調整がスムーズに出来ている。また、職員間での情報共有が出来る体制が整っている。（評価点：3点）	
	③指導育成、研修体制	個人情報保護、情報公開研修、人権啓発研修、リーダーシップ研修、救急救命講習会、体育施設運営士講習、体育施設管理士講習、体育施設床管理士講習、上級救急救命講習、OJT（随時）など職員の育成、スキルアップに努めている。（評価点4点）		職員スタッフ研修を計画的に開催しており、職員育成に努めている。（評価点：3点）		

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる 能力及び財政基盤に関する事項	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	事業者の運営基盤 南海ビルサービス株式会社 ・ビル、ホテル、空港などにおける設備機器の運転保守管理業務、客室整備、警備業務および清掃等衛生管理業務 ・駅、鉄道施設における駅務自動化機器および照明、放送等電気設備の保守管理業務・建築物における各種設備の改造、修繕、取替工事の設計、施工および工事請負・ビル、店舗、住宅、マンション等、リフォーム工事の設計、施工、監理 ・テレビジョン電波受信障害対策施設の設計、施工および維持管理業務 ・不動産の管理、賃貸借、売買および仲介 ・ビル・マンション等の管理 ・都市や宅地の緑化計画、土木外溝・造園・室内装飾の設計・施工、緑の維持・管理、緑のリース、フラワーショップの運営 ・高齢者専門宅配弁当事業 美津濃株式会社 ・スポーツグッズ、スポーツウェアなどスポーツに関わる製品の製造・卸売・販売 ・スポーツ施設の運営及び運営委託 ・各種スクール事業 ミズノスポーツサービス株式会社 ・公共スポーツ施設（指定管理、運営委託、PFI）及び直営フットサルコート、フィットネス施設の管理運営 ・スポーツ教室、スクール、スポーツイベント・大会、出張健康・体力づくりイベント等の企画運営事業	S	運営基盤は安定している。 (評価点：3点)	A	
	②法人等事業者の財務状況	2019年度財務状況 代表企業：南海ビルサービス株式会社 自己資本合計 7,616,938,692円 資産合計 14,590,285,983円 流動資産合計 1,140,167,834円 固定資産合計 3,188,607,642円 流動負債合計 6,844,756,005円 固定負債合計 128,591,286円 負債合計 6,973,347,291円 経常利益 26,130,074,000円 当期純利益 835,021,000円 美津濃株式会社 自己資本合計 96,405,000千円 資産合計 155,593,000千円 流動資産合計 96,402,000千円 流動負債合計 41,311,000千円 固定資産合計 17,875,000千円 経常利益 7,717,000千円 ミズノスポーツサービス株式会社 自己資本合計 943,370,352円 資産合計 2,462,087,958円 流動資産合計 1,241,106,387円 流動負債合計 780,290,924円 固定資産合計 1,220,981,571円 経常利益 246,324,479円 (評価点4点)		健全な財務状況である。 (評価点：3点)		
III 総括		3項目（12点満点）	S	3項目（12点満点）	A	